

新入生・保護者の皆様へ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち都立杉並工業高等学校教職員一同は、心から皆さんを歓迎いたします。

皆さんをお迎えした杉並工業高校は、創立五十六年目を迎える地域とともに発展してきた高等学校です。機械科、電子科、理工環境科の三科を設置し、「勤労と責任を重んじる誠実な人間の育成」、「個性を伸ばし、自主的にして協働性のある人間の育成」、さらには「豊かな教養を備えた地球環境に配慮できる技術者の育成」を学校の教育目標とし、実に半世紀以上にわたって、産業界で活躍する卒業生を多数送り出してきました。

杉並工業高校の一・二年生は、少人数授業を通して、中学校の学び直しを含め基礎的知識を学び教養を高めます。そして、豊富な実習・体験活動を通して、ものづくりの基礎技術を学ぶとともに、社会人として必要な人間力を磨きます。三年生では、「課題研究」を通じて、主体的に課題を設定する力、課題を解決する力、結果を他者へ伝える力を身に付け、生涯に渡って学び続ける資質を伸ばします。

今、社会全体がコロナウイルスの猛威に晒され、今だ解決の目途は立っていません。我々人類は、これまでも、繰り返し未知なるウイルスや様々な自然の脅威に見舞われてきました。しかし、人類は繰り返し起こる自然の脅威を、テクノロジーの進歩によって乗り越えてきました。

皆さんは、本校においてテクノロジーの基礎を学びます。将来は、その知識と技術を駆使して、人々が安心して暮らしていけるための、ものを作り出す技術者として活躍することが求められています。今はまだ、自分が社会でどれ程のことができて、どんな活躍ができるのか、実感できる人は少ないかもしれません。しかし、皆さんは間違いなく、テクノロジーを駆使し日本の未来を担っていく人材です。

皆さんは、現在、コロナウイルスの影響で心落ち着かない日々を送っていることと思います。それでも、未来の日本を担っていく皆さんは、この時、このピンチをチャンスとして捉え、逆境のこの状況の中で自分のやるべきことを見

つけ、目標を設定し、妥協することなく自らの可能性に挑戦して欲しいと思います。そして、授業再開後の杉並工業高校では、日々努力を続けることによって、皆さんの中にある能力を開花させて欲しいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学、本当におめでとうございます。お子様の成長した姿を目の当たりにして、お喜びもひとしおであろうかと拝察いたします。このような形で令和二年度は始まりましたが、私たち教職員は、お子様が自らの道を自らが切り開いていけるよう、全力を尽くして指導して参ります。お困りのことや心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながらも、密接に情報交換し、一体となってお子様を育てていきたいと考えております。御協力をお願いいたします。

生徒の皆さん、明日からの授業もままならない中ですが、陽は必ず上ります。杉並工業高校での生活が始まります。その時がくることを楽しみにしてください。

私も皆さんに会える日を心待ちにしています。

令和二年四月七日

東京都立杉並工業高等学校長 高野 学